

## 第5章 学生の受け入れ

## (1) 現状説明

点検評価項目①：学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

## 【評価の視点】

- |   |
|---|
| <p>1：学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針の適切な設定及び公表</p> <p>2：下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前の学習歴・学力水準・能力等の求める学生像</li> <li>・入学希望者に求める水準等の判定方法</li> </ul> |
|---|

1) 本学では、「3つのポリシー策定の基本方針」に基づき、大学全体、学部、研究科(学位プログラム)単位で学生の受け入れ方針(以下、アドミッション・ポリシー)を策定している。各アドミッション・ポリシーでは、カリキュラムを通して、本学の卒業生・修了生となり得る意欲・資質を有する学生を入学者として得るため、求める学生像、入学に際し求められる学力の水準、入学者選抜などの方針を示している。

(大大評5-1 法人ホームページ 「各種方針」 「アドミッション・ポリシー」)

(基礎要件確認シート 「15 学生の受け入れ方針(AP)の公表」)

2) 大学全体のアドミッション・ポリシーでは、本学は、学是「仁」と理念「不断前進」に則り、学風(三無主義)を掲げ、自己研鑽・競争原理及び相互信頼のもとに高い倫理観に基づく教育、研究、臨床を実践していることを説明し、求める学生像、多様な入試制度を準備して評価を行うことを明示している。

3) 各学部・研究科においては、大学全体のアドミッション・ポリシーとの整合性を図るとともに、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、それぞれアドミッション・ポリシーを定めている。例えば、医学部では、「求める学生像」、「大学入学までに身に付けておくべき教科・科目等」、「入学者選抜の基本方針」を具体的に明示している。

4) アドミッション・ポリシーの公表については、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーと同様に、情報が得やすいように、法人ホームページ、各学部・研究科のホームページへ掲載するとともに、学生募集要項に掲載している。大学ポータルでも、同様に本学ホームページへのリンク設定により容易に閲覧が可能となるようにしている。

点検評価項目②：学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

## 【評価の視点】

- |  |
|--|
| <p>1：学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度の適切な設定</p> <p>2：授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供</p> <p>3：入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備</p> <p>4：公正な入学者選抜の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施</li> </ul> <p>5：入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある学生の受け入れ</li> <li>・オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保(受験者の通信状況)</li> </ul> |
|--|

## 第5章 学生の受け入れ

の顧慮等)

6：入試において、COVID-19への対応・対策としてどのような措置を講じたか

## 《学生募集方法及び入学者選抜制度》

1) 本学では、アドミッション・ポリシーに基づき、各学部・研究科において学生募集及び入学者選抜を行っている。入学者については、学部・研究科にて入学試験毎に、「入学者選抜委員会」を設置し、適切かつ公正な選考を行い、教授会・研究科委員会の審議を経て学長が許可・決定している。また、入学者の選抜方法の改善及び入学者選抜の円滑な実施に資することを目的として、大学の組織として、アドミッションセンターを置いており、各学部・研究科と連携し、入試業務にあたっている。同センターは、全学的な立場で、入学者選抜方法の調査・研究及び企画・立案、入学者選抜結果の分析及び評価、学生募集に係る広報等に関する業務を担当している。

(大医5-1 医学部学生募集要項)

(大ス5-1 スポーツ健康科学部学生募集要項)

(大医看5-1 医療看護学部学生募集要項)

(大保看5-1 保健看護学部学生募集要項)

(大科教5-1 国際教養学部学生募集要項)

(大保医5-1 保健医療学部学生募集要項)

(大医科5-1 医療科学部学生募集要項)

(大院医5-1 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)学生募集要項)

(大院医5-2 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)学生募集要項)

(大院ス5-1 大学院スポーツ健康科学研究科学生募集要項)

(大院看5-1 大学院医療看護学研究科学生募集要項)

(大入試5-1 順天堂大学アドミッションセンター(入学センター)管理運営規程)

2) 学生募集の方策として、ホームページや各種広報媒体に記事を掲載するだけでなく、高校や予備校等が主催する進学説明会への参加、高校訪問、遠隔地出身学生の夏季休暇等を利用した母校訪問や、オープンキャンパスを年に複数回実施する等の取り組みを行っている。2021(令和3)年度以降に行ったオープンキャンパスは、COVID-19の影響により、オンライン開催・対面開催の双方で実施した。学部長挨拶・説明、在学生による学部紹介動画の配信、オンラインによる進学相談や模擬面接の実施等、遠方の受験生のニーズにも応えられるよう配慮し、本学のアドミッション・ポリシー等を受験生に伝える機会を確保している。また、一部の学部では春にオープンキャンパスを実施することで、受験生への早期情報提供を図っている。

(大科教5-2 2022(令和4)年度 国際教養学部 進学説明会)

(大科教5-3 2022(令和4)年度 国際教養学部 オープンキャンパス)

3) ホームページでは、「大学の入試総合サイト」と「学部サイト」を分けることにより、興味・関心の段階に応じて、必要な情報を取得できるように努めている。例えば、大学で検索した場合は、「大学の入試総合サイト」で大学全体の最新ニュースなどを幅広く情報収集でき、そこから興味をもった学部を知りたい場合は、「学部サイト」を確認してもらうといった導線としている。

## 第5章 学生の受け入れ

- 4) 各学部では多様な学生を受け入れるため、その特性に応じた入学試験を実施している。例えば、医学部では、一般選抜、大学入学共通テスト・一般独自併用選抜、大学入学共通テスト利用選抜の他に、地域枠選抜、研究医特別選抜（総合型選抜）、国際バカロレア／ケンブリッジ・インターナショナル選抜（総合型選抜）、帰国生選抜、外国人選抜を実施している。また、医学部では全ての選抜方式で、医療看護学部及び保健看護学部でも多くの選抜方式で面接試験を課しており、学力試験だけでは測ることのできない意欲・資質・能力をアドミッション・ポリシーに基づき評価している。面接時には、各自の特徴を示すもの（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、漢検、各種段位、免許書、表彰状等の証明書、記念品、広報紙等）があれば、それらを持参させ、説明を求めている。また、医学部以外の学部でも同様に、様々な選抜方式を設定しており、アドミッション・ポリシーに基づき、多様な学生の受け入れを行っているとともに、一般選抜を複数回用意しており、本学を希望する学生へ、多くの受験機会を提供している。国際教養学部では、2023(令和5)年度一般選抜（2022(令和4)年度実施）に由来から実施している〈前期〉と〈後期〉の間に、新たに〈中期〉を設定して実施した。
- 5) 大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）及び医学専攻（博士課程）では、4月入学者に対しては、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試、外国在住外国人留学生入試の4種類を、10月入学者に対しては、外国人留学生入試、外国在住外国人留学生入試の2種類を実施している。外国在住外国人留学生入試は、国際化を目指す上で積極的に外国人留学生を受け入れる目的で行っており、受験のためだけに来日することなく、書類選考やWeb会議システムを活用した面談等による特別入学試験制度であり、書面審査、Web会議システム等を用いて口述試験を行い、大学院医学研究科入学者選抜委員会、医学研究科委員会による審議を経て、入学の可否を決定している。外国人（特別永住者除く）の受験資格について、各課程ともに出願時点での日本語能力試験の合格実績は必ずしも要件とせず、国際化を目指す上で積極的に外国人留学生を受け入れることとした。なお、国際交流センターが日本語能力のレベルに合わせた日本語講座を複数開講しており、入学後に日本語修得の機会を提供している。
- 6) 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程では、出願書類のうち課題小論文（本学大学院で研究したいこと）の内容をもとに面接試験を実施し、評価している。出願区分は、「一般」の他、「社会人」「トップアスリート（スポーツ）」「外国人（留学生）」を設け、多様な背景を持つ者を受け入れている。博士後期課程の選抜方法では、語学試験（英語力を問う筆答試験）及び面接試験（出願者によるプレゼンテーションとプレゼンテーション内容及び志望動機等についての口頭試問）を総合して評価している。博士後期課程においては、予め希望指導教員と面談を行い、研究計画をよく確認したうえで出願することを求めている。
- 7) 大学院医療看護学研究科では、博士前期課程は、専門科目及び英語（一般）又は小論文（社会人）並びに面接を実施している。専門科目は、研究指導可能な専門領域の中から、自らが進学を希望する科目とそれ以外の科目の2科目を選択して受験することとしている。博士後期課程は、筆記試験（英語）と口述試験を実施している。秋入学のグローバルナーシングコース（博士前期課程）、グローバルナーシングリーダーコース（博士後期課程）では、国外の受験者に受験機会を提供するため、オンライン上で小論文及び面接を実施している。

### 《授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供》

- 8) 各学部・研究科の学生募集要項・ホームページに、学費（授業料、施設設備費、実験実習費、

## 第5章 学生の受け入れ

教育充実費等)、学費減免制度、各種奨学金制度について掲載し、受験生に情報提供している。適宜、制度改定を行い、受験生にとってより分かり易い制度を目指している。例えば、医学部では2022(令和4)年度入試より、特待生制度を一般選抜A方式合格者の成績上位10名を対象とするように改定した。また、外国人選抜の入学者を対象とした国際臨床医・研究医養成外国人学生奨学金、基礎医学研究者を目指す学生を支援する基礎医学研究者養成奨学金、地域枠選抜の入学者を対象とした奨学金等があり、入学後の学生生活を支援する奨学金制度を設けている。

(大医5-2 学費・奨学金)

### ≪入学者選抜実施のための体制整備≫

9) 学生受け入れに係る委員会は、下表のとおり整備している。各委員会の責任の所在と役割を明確にし、公正な入学者選抜の実施とその適切性の検証を行い、改善・向上を図る体制となっている。全学的組織としては、学長を委員長とする「全学入試委員会(学部)」及び「大学院入試委員会」を置き、入学者選抜の基本事項等を審議している。各学部・研究科には、入学者選抜方法や学生募集に関すること等を審議する「入試委員会」、公正に入学候補者を選抜し合格者(案)を作成する「入学者選抜委員会」を置いている。また、選抜方法・選考プロセスを含む学生受け入れの公正性・適切性を検証する委員会として、「入試検証委員会」を置いている。「入試検証委員会」は、他学部・研究科の教員1名以上を含み、「入学者選抜委員会」に関与しない者で構成し、検証チェックリストに基づき、学生受け入れの公正性・適切性を検証している。「入試検証委員会」の検証結果は、「入試委員会」に報告され、その検証結果を踏まえて、次年度の学生受け入れの戦略・立案を行っている。「全学入試委員会(学部)」及び「大学院入試委員会」では、各学部・研究科の「入試検証委員会」の検証結果を全学的視点で検証している。

(大入試5-2 順天堂大学全学入試委員会規程)

(大入試5-3 順天堂大学学部入学試験実施規程)

(大入試5-4 順天堂大学大学院入試委員会規程)

(大入試5-5 順天堂大学大学院入学試験実施規程)

(大入試5-6 入試関連委員会体制図)

委員会	所管	責任者	審議事項
全学入試委員会	アドミッションセンター	学長	全学(学部)の入試に係る基本的事項・部門入試検証委員会の結果
大学院入試委員会	アドミッションセンター	学長	大学院の入試に係る基本的事項・部門入試検証委員会の結果
入試委員会 (部門)	各学部・研究科	各学部長・研究科長	前年度の〔学生受け入れ全体〕に関する入試検証委員会の検証結果を踏まえて、次年度の〔学生受け入れ全体〕の戦略・立案
入学者選抜委員会 (部門)	各学部・研究科	各学部長・研究科長	属性を考慮せず、公正な選抜実施を確認 入学候補者を選抜、合格者(案)を作成
入試検証委員会 (部門)	各学部・研究科	各学部長・研究科長が指名する者	検証事項チェックリストをもとに選抜方法・選考プロセスを含む〔学生受け入れ全体〕の公正性・適切性を検証 ※入学者選抜委員以外の者で構成

## 第5章 学生の受け入れ

### 《公正な入学者選抜の実施》

- 10) 公正な入学者選抜を行うため、合否判定で使用される選考資料には、選考に関係しない受験者の属性（氏名、性別、年齢、現役・浪人、出身高校等）を記載せず、受験者の成績から合否判定基準に従って合否判定が行われている。「入学者選抜委員会」において、合否判定案が審議され、教授会・研究科委員会を経ることによって選考の透明性を確保しており、公正かつ適切に入学者選抜を実施している。
- 11) オンライン試験の公正な実施については、事前に注意事項・実施手順に従い、不正行為の防止・円滑な実施に努めている。例えば、オンラインによる小論文試験においては、他の受験生と同タイミングで試験を開始し、カメラ・音声を常にONの状態とさせることで、不正行為の監視を行い、他の受験生と同条件での実施に努めた。

### 《入学を希望する者への合理的な配慮》

- 12) 身体の障がい・疾病等により受験及び修学、学生生活に特別な配慮を必要とする場合は、出願前に相談を受け付けており、障がいのある学生の権利や利益を侵害することとならないよう、受験上又は修学上の必要かつ合理的な配慮に努めている。具体的には、受験時の座席変更や車椅子での受験が必要な学生に対しては、高さを調整できる机を準備する等の対応を行っている。
- 13) オンラインで試験を行う場合の公平な受験機会の確保については、事前に通信テストを行うことで、各受験生の通信状況を把握し、問題ないことを確認したうえで実施した。また、試験中に途切れてしまうなど、不測の事態が起こった場合も、電話・E-mail・チャット等で連絡を取り、対応を検討することとしていたが、実際に不測の事態が発生することはなかった。

### 《入試における COVID-19 への対応・対策》

- 14) 入試において、COVID-19 の対応・対策は次のとおり行った。

#### ① 追試験・振替試験の設定

- ・全学部で、追試験又は振替試験を設定し、学生募集要項・ホームページ等で周知した。
- ・COVID-19 罹患者だけでなく、濃厚接触者等についても、追試験・振替試験の受験を認めることとした。

#### ② オンライン試験、出願要件における配慮

- ・医学部の国際臨床医・研究医選抜における外国人選抜、帰国生選抜及び国際バカロレア／ケンブリッジ・インターナショナル選抜では、試験日までに入国できない受験者に対しては小論文・英作文試験、面接試験をオンラインで実施した。

（大医5-3 国際臨床医・研究医選抜 オンライン試験受験案内）

- ・スポーツ健康科学部では、総合型選抜Ⅰ（受験者全員）、総合型選抜Ⅱ（一部の選抜方式）、総合型選抜Ⅲ（受験者全員）、一般選抜C日程（希望の受験者）において、オンライン面接試験を実施した。

#### ③ 試験当日の対応

- ・試験当日における感染対策として、受付での手指消毒・マスク着用の確認（着用していない受験生へのマスクの配布）・付添者の会場立入制限を行うとともに、入退出時の混雑を防ぐための誘導等を実施した。

## 第5章 学生の受け入れ

- ・休憩時間等においては、窓・出入り口扉の開放、サーキュレーターの設定による換気を行い、試験室内における安全・安心を確保するようにした。
- ・受験生の座席は、学力試験ではガイドラインに基づいた前後左右の間隔を空けて配置し、面接試験では飛沫防止等のパーティションを配置した。
- ・体調不良者・濃厚接触者については、別室受験での対応を実施した。

### ④大学院入試における対応

- ・試験当日の対応は、学部と同様に感染対策を徹底した。スポーツ健康科学研究科博士後期課程では、日本国外に在住していてCOVID-19の影響により日本に入国ができない受験者に対しては、語学試験・面接試験をオンラインで実施した。

### 点検評価項目③：適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

#### 【評価の視点】

#### 1：入学定員及び収容定員の適切な設定と在籍学生数の管理

- ・入学定員に対する入学者数比率
- ・収容定員に対する在籍学生数比率
- ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応

1) 設定している入学定員を遵守すべく、正確な定着予測に努めており、全学的に適正な管理が出来ている。2023(令和5)年度における、入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)及び収容定員に対する在籍学生数比率(過去3年分)は、下記のとおりである。収容定員に対する在籍学生数の極端な過剰又は未充足は生じていない。学部・研究科ともに、第3章で説明したとおり、志願者数の増加に応じて、適切に入学定員増を行い、在籍学生数が過剰とならないように対応している。入学定員増をしたことで未充足とならないよう、ホームページ等により適切に入試広報を行っている。

	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均：2022年度)	収容定員に対する在籍学生数比率		
		2020年度	2021年度	2022年度
学士課程 計	1.01	1.01	1.00	1.00
医学部	1.00	1.01	1.01	1.00
スポーツ健康科学部	1.01	1.00	1.00	1.01
医療看護学部	1.00	1.00	1.00	0.99
保健看護学部	1.03	1.02	1.03	1.03
国際教養学部	1.01	1.01	1.00	0.98
保健医療学部	1.01	1.01	1.01	1.00
医療科学部	1.01	—	—	1.01
修士課程 計	1.20	1.16	1.16	1.24
医学研究科	1.56	1.51	1.41	1.47
スポーツ健康科学研究科	1.01	0.96	1.02	1.05
医療看護学研究科	1.19	1.13	1.02	1.17

## 第5章 学生の受け入れ

博士課程 計	1.10	1.10	1.06	1.03
医学研究科	1.08	1.06	1.01	1.01
スポーツ健康科学研究科	1.46	1.73	1.87	1.57
医療看護学研究科	1.04	1.30	1.27	1.06

(大学基礎データ 表2)

点検評価項目④：学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

## 【評価の視点】

1：適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価

2：点検・評価結果に基づく改善・向上

1) 本学は、毎年度、大学・各学部・研究科・管理部門等の単位で、(公財)大学基準協会の大学基準に準拠し、内部質保証の推進に必要な自己点検・評価を行っている。学生の受け入れの適切性は、アドミッションセンター、各学部・研究科において、それぞれ根拠資料に基づく点検・評価を行っている。点検・評価の結果、認識された問題点については、当該部署を中心に改善に取り組み、次年度末までに内部質保証推進委員会委員長宛に改善状況報告書を提出することとしている。問題点及び改善状況は一覧表にまとめられ、毎年度、自己点検・評価運営委員会及び内部質保証推進委員会で検証された後、学長に報告される。学長は更なる改善が必要な場合には、必要な指示を出すという仕組みになっている。近年、改善した実例のうち主なものは次の通りである。

全学的な取り組みとして、年内入試への定員シフトが行われた。総合型選抜、学校推薦型選抜などの年内入試優勢に鑑みて、全学部での年内入試の定員比率を44%から47%に引き上げた。学部入試において、他大学との入試日程重複の対策として、一般選抜の受験日程の増設や新たな選抜方式の追加を行い、受験機会の確保が行われた。外国人留学生を確保するための方策として、留学生向け進学説明会参加、進学情報サイト・進学情報誌への出稿等の広報活動が展開されるようになった。国際教養学部では、9月卒業の外国人留学生や海外帰国生を対象に、帰国生選抜・外国人選抜を5月にも実施する対応がとられた。COVID-19感染状況を踏まえ、スポーツ健康科学部では、冊子や動画作成、卒業生メッセージ掲載等によるホームページの充実が図られた。オンライン個別相談、オンライン説明会の開催も積極的に行われるようになった。大学院スポーツ健康科学研究科では、オンラインによる面接試験が導入された。

(大大評2-14 第16次(令和3年度)自己点検・評価報告書 問題点及び改善策 まとめ)

(大大評2-42 自己点検・評価運営委員会(R4-1)議事録\_令和4年5月)

(大大評2-33 内部質保証推進委員会(R4-2)議事録\_令和4年5月)

2) 入試の公正確保の観点からは、各学部・研究科では、「入試検証委員会」にて、学生募集要項及びアドミッション・ポリシーに基づき、前年度に行った学生の受け入れ全体(入学者選抜のプロセス(学生募集、出願手続、個別学力検査、小論文、面接、合否判定、合格発表))の公正性・適切性の検証を行い、その結果をもとに、各学部・研究科の「入試委員会」にて、入試日程・選抜方式・募集人員の検討及びCOVID-19の対応等、改善・向上に向けた取り組み

## 第5章 学生の受け入れ

が行われている。全学的観点からは、「全学入試委員会(学部)」及び「大学院入試委員会」で「入試検証委員会」の結果を検証し、総括している。その検証、改善・向上の取り組み内容は、自己点検・評価報告書に纏めている。更に、「内部質保証推進委員会」では、各学部・研究科の「入試検証委員会」の検証結果を踏まえた自己点検・評価報告書の内容に基づき、全学的な視点での検証を行っている。本学が実施した2022(令和4)年度の学生の受け入れは、公正かつ適切に行われたことを確認している。これまでの検証結果に基づく改善事例として、次のことが挙げられる。「希望する受験生本人への成績開示」の対応として、2022(令和4)年度入試(2021(令和3)年度実施)より、「希望する受験生本人への成績開示」を行うこととして準備が進められ、2022(令和4)年5月に、全学部で成績開示が行われた。また、入試検証委員会で使用するチェックリストについて、様式の改善が図られた。具体的には、各検証項目に「適切」と「要改善」のチェック欄のみであったため、真に改善すべき項目と改善の余地がある項目が混同していたが、検証項目をあらかじめ「必須項目」と「努力項目」に分け、チェック欄に「対応済」「未対応」「改善余地有」の三列を設けることにした。これにより、すべての「必須項目」が「対応済」となることを最低限の目標として、対応済みだが改善の余地のある場合には「改善余地有」にチェックを入れられるようにした。様式を修正したチェックリストにより、2022(令和4)年度入試(2021(令和3)年度実施)及び2023(令和5)年度入試(2022(令和4)年度実施)における各学部・研究科の検証が行われたが、検証作業に支障は生じなかった。

(大入試5-7 全学入試委員会・大学院入試委員会議事録(2022(令和4)年5月))

(大大評2-17 順天堂大学入学者選抜の検証要領・大学院入学者選抜の検証要領)

(大入試5-8 検証事項チェックリスト)

(大大評2-34 内部質保証推進委員会(R4-3)議事録\_令和4年6月)

(大大評2-21 内部質保証推進委員会(R3-3)議事録\_令和3年7月)

(大大評2-27 内部質保証推進委員会(R3-6)議事録\_令和3年11月)

- 3) アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとともに一体的に改正されるべきものであり、内部質保証推進委員会は、これらのポリシー改正等の管理面で関与し、定期的に改正の検討を指示している。3つのポリシーの改正は、教授会・研究科委員会の下部組織である各種委員会での検討を踏まえ、教授会・研究科委員会での審議を経た後、学長が主宰する大学協議会にて大学全体の視点から定期的に検証を行い、改正を行っている。

(大大評2-12 3つのポリシー及びアセスメント・ポリシー改正要否の検討について)

### (2) 長所・特色

#### 《アドミッション・ポリシーに基づいた学生募集》

- 1) 各学部・研究科において、アドミッション・ポリシーを学生募集要項やホームページに明示し、多彩な選抜方式で入学試験を行っているが、その特徴として、多くの選抜方式において面接試験を課していることが挙げられる。志望理由や学修意欲等を聞き、本学へ入学する目的意識を確認するとともに、学部では面接試験に受験生の特徴を示すもの(TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、漢検、各種段位、免許書、表彰状等の証明書、記念品、広報紙等)を用いるこ



## 第5章 学生の受け入れ

とで、感性・教養を兼ね備えた入学者の選考を実施している。入学後の留年者や退学者が少なく、多くの学生が修業年限で卒業しており、各国家試験の合格率・就職率も非常に高いことから、高い学習意欲と目的意識を持った学生を確保できており、本学の選考方法が適切に運用されているといえる。

更なる発展方策として、アドミッション・ポリシーに基づいた入試広報の充実・入学者選抜の実施に努め、今まで以上に年内入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）に傾注し、学力だけでなく人物・意欲・資質等を見極める選抜を行っていく。

### 《多様な選抜方式》

- 2) 本学が求める意欲と資質を有した学生を国内外から選抜できるように、学部では大学入学共通テストを利用した選抜方式の他、TOEFL・IELTS・国際バカロレア等の外部英語資格・検定試験結果を活用した選抜方式、外国人留学生選抜や帰国生選抜の実施等、受験できる方式の多様化を図っている。医学部以外の学部では一般選抜を複数回実施するなど、本学への受験を希望する受験生に対し、多くの受験機会を提供している。国際教養学部では、外国人留学生、海外帰国生を多く受け入れるための方策として、国外在住者で2022(令和4)年9月に外国において学校教育における12年の課程を修了した者、及び2022(令和4)年9月30日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者等に対し、2023(令和5)年度入試（2022(令和4)年度実施）として、2023(令和5)年4月の本学入学希望者に対する「外国人選抜」「帰国生選抜」を2022(令和4)年5月に実施した。大学院では、医学研究科において、英語による授業・研究指導のみで学位取得を可能とするべく、カリキュラムの整備を行い、2022(令和4)年10月から秋入学による外国人留学生の受け入れを開始している。医療看護学研究科においても同様に、カリキュラムを整備の上、2022(令和4)年10月から秋入学による学生の受け入れを開始している。スポーツ健康科学研究科において、2023(令和5)年度入試（2022(令和4)年度実施）より出願時の要件として日本語能力を必須としないことに加え、2023(令和5)年度には英語による受講のサポート（翻訳システムの導入や授業資料の英語化）や外国人向けの住居を導入し、外国人留学生の受け入れを促進している。更なる発展方策として、アドミッション・ポリシーに則して、先進的な選抜方式を取り入れ、入試制度改革を継続し、本学の求める学生像に合致した学生を確保していく。

### (3) 問題点

#### 《多様な受験生の確保》

- 1) 多様な受験生の確保として、「留学生・帰国生」が重要となるが、本学の留学生・帰国生比率は、在学生比率でそれぞれ数%程度となっており、低い値である。日本における18歳人口減少及びグローバル社会への対応に伴い、本学においても留学生・帰国生の確保に向けて力を入れていく必要がある。留学生・帰国生確保に向けて必要な制度を検討するとともに、留学生、日本語学校の教員や帰国子女（保護者含む）に向けても、引き続き適切な広報を行っていく。

#### 《全国からの受験生の確保》

- 2) 現在、本学における学部の志願者の地域別割合は70%以上が関東からの出願者となっている。全国から優秀な学生を確保するべく、他地域での積極的な広報の実施とともに、試験場の設定などを行い、受験しやすい環境を整えていく必要がある。

## 第5章 学生の受け入れ

2023(令和5)年度入試(2022(令和4)年度実施)より、一部の学部・選抜方式で、地方試験会場を設定した実績を踏まえ、継続する方向で検討している。また、オンラインによる入学試験により、関東以外の方が入学検定料以外に受験にかかる費用(大学までの交通費、前日宿泊費等)を抑制し、進路選択の幅を広げる工夫を講じていく。

### 《高大連携を通じた受験生の確保》

3)少子化に歯止めがかからない現在、受験人口の減少は、高等学校と大学双方にとって由々しき問題であることは言うまでもなく、これまで以上に双方が連携し、人材育成に協同して取り組む必要がある。

高大連携については、国際教養学部の開設を機に2015(平成27)年に昭和第一高等学校を皮切りに、13の高等学校とそれぞれ教育提携協定を締結した。大学の求める人材(アドミッション・ポリシー)は、高等学校の育成したい人材と一致するという土台がある。特に、高等学校学習指導要領に掲げられている「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)を達成するためにも、重要な要素になり得る。高等学校の学習に大学が介入することで内容に深みが増し、受講する高校生は自身の学びの不足を感じることでそこから自主的な学びに向かい、そして、その延長として大学での学びを追求する。教育提携協定を締結した高等学校との交流事業として、生徒を招いての大学・施設の見学会や本学の教職員も出張講義等を行っており、一定の役割を担っている。このような高大連携を通じて、本学に動機づけされた受験生の確保を行っていく。

### (4) 全体まとめ

アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ策定しており、求める学生像、大学入学までに身に付けておくべき教科・科目、入学者選抜の基本方針等が示されている。

入学定員、収容定員、選抜方式、授業料その他の費用や経済的支援に関する情報等は、大学のホームページや学生募集要項に掲載し、受験生・保護者をはじめ社会に広く公表している。各学部においては、オープンキャンパスや進学説明会にて教育内容、キャンパスライフ等の説明を行い、個別相談にも応じている。多様な学生を受け入れるため、その特性に応じた入学試験を実施している。各研究科においては、希望する研究指導教員との研究内容の確認を行う等、入学後のミスマッチが起きないように取り組んでいる。

入学者数については、入学定員を遵守すべく、正確な定着予測に努めており、全学的に適正な管理が出来ている。収容定員に対する在籍学生数についても、極端な過剰又は未充足は生じていない。

学生の受け入れの適切性の点検・評価については、各学部・研究科では、「入試検証委員会」にて、検証チェックリストを用いて定期的に検証を行っている。その結果は、全学的観点から「全学入試委員会」及び「大学院入試委員会」で検証し、総括している。また、各学部・研究科の「入試検証委員会」の検証結果は自己点検・評価報告書に纏められ、「内部質保証推進委員会」にて、自己点検・評価報告書の内容に基づき、学生の受け入れが公正かつ適切に行われたことを確認し、必要な改善を図っている。

## 第5章 学生の受け入れ

## (5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大大評5-1	法人ホームページ 「各種方針」 「アドミッション・ポリシー」 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/about/pr/policy/">https://www.juntendo.ac.jp/about/pr/policy/</a>
2	大医5-1	医学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/med/exam_info/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/med/exam_info/index.html</a>
3	大ス5-1	スポーツ健康科学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/hss/outline/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/hss/outline/index.html</a>
4	大医看5-1	医療看護学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/nurs/outline/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/nurs/outline/index.html</a>
5	大保看5-1	保健看護学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/hsn/examinfo/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/hsn/examinfo/index.html</a>
6	大国教5-1	国際教養学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/ila/outline/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/ila/outline/index.html</a>
7	大保医5-1	保健医療学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/hs/information/">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/hs/information/</a>
8	大医科5-1	医療科学部学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/ms/outline/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/nyushi/ms/outline/index.html</a>
9	大院医5-1	2023年度(4月春入学)大学院医学研究科(博士・修士課程)学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/med/doctoral/boshuyoko/">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/med/doctoral/boshuyoko/</a> <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/med/master/boshuyoko/">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/med/master/boshuyoko/</a>
10	大院医5-2	2023年度(10月秋入学)大学院医学研究科(博士・修士課程)学生募集要項 <a href="https://en.juntendo.ac.jp/admissions/graduate_school_of_medicine_masters_program_october_entry.html">https://en.juntendo.ac.jp/admissions/graduate_school_of_medicine_masters_program_october_entry.html</a> <a href="https://en.juntendo.ac.jp/admissions/graduate_school_of_medicine_doctoral_program_october_entry.html">https://en.juntendo.ac.jp/admissions/graduate_school_of_medicine_doctoral_program_october_entry.html</a>
11	大院ス5-1	大学院スポーツ健康科学研究科学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/hss/master/yoko/index.html">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/hss/master/yoko/index.html</a>
12	大院看5-1	大学院医療看護学研究科学生募集要項 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/nurs/exam/">https://www.juntendo.ac.jp/admission/exam/graduate/nurs/exam/</a>

## 第5章 学生の受け入れ

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
13	大入試5-1	順天堂大学アドミッションセンター（入学センター）管理運営規程
14	大国教5-2	2022(令和4)年度 国際教養学部 進学説明会
15	大国教5-3	2022(令和4)年度 国際教養学部 オープンキャンパス
16	大医5-2	学費・奨学金
17	大入試5-2	順天堂大学全学入試委員会規程
18	大入試5-3	順天堂大学学部入学試験実施規程
19	大入試5-4	順天堂大学大学院入試委員会規程
20	大入試5-5	順天堂大学大学院入学試験実施規程
21	大入試5-6	入試関連委員会体制図
22	大医5-3	国際臨床医・研究医選抜 オンライン試験受験案内
23	大大評2-14	第16次(令和3年度)自己点検・評価報告書 問題点及び改善策 まとめ
24	大大評2-42	自己点検・評価運営委員会(R4-1)議事録_令和4年5月
25	大大評2-33	内部質保証推進委員会(R4-2)議事録_令和4年5月
26	大入試5-7	全学入試委員会・大学院入試委員会議事録(2022(令和4)年6月)
27	大大評2-17	順天堂大学入学者選抜の検証要領・大学院入学者選抜の検証要領
28	大入試5-8	検証事項チェックリスト
29	大大評2-34	内部質保証推進委員会(R4-3)議事録_令和4年6月
30	大大評2-21	内部質保証推進委員会(R3-3)議事録_令和3年7月
31	大大評2-27	内部質保証推進委員会(R3-6)議事録_令和3年11月
32	大大評2-12	3つのポリシー及びアセスメント・ポリシー改正要否の検討について

全学  
5章

学生の受け入れ